



ViewMail for Outlook でのメッセージの管理

- 「ボイス メッセージの送信」 (P.7)
- 「メッセージの確認」 (P.8)
- 「メッセージに対する返信」 (P.8)
- 「ボイス メッセージの転送」 (P.9)
- 「削除されたメッセージの管理」 (P.9)

ボイス メッセージの送信

Outlook からボイス メッセージを送信したり、メッセージに対する返信を録音したりできます。メッセージはユーザだけでなく、パブリック同報リストと電子メール アドレスに対して送信、返信、転送できます。

組織に複数のロケーションがある場合は、別のロケーションにいるユーザにメッセージを送信したり、メッセージに返信したりすることができます。詳細については、管理者に問い合わせてください。



(注)

Cisco Unity Connection メールボックスがそのサイズ クォータを超えると、メッセージを送信できなくなる場合があります (「メールボックスのサイズの管理」 (P.33) を参照してください)。

ボイス メッセージを送信するには

ステップ 1 Outlook 受信ボックスの Outlook ツールバーで、[新しいボイスメッセージ (New Voice Message)] アイコンをクリックします。

または

[アクション (Actions)] メニューの [新しいボイスメッセージ (New Voice Message)] をクリックします。

ステップ 2 Connection のユーザ名または電子メール アドレスおよび件名を入力します。



(注) 電子メール アドレス宛のメッセージは、電子メール メッセージに添付されたサウンド (WAV) ファイルとして送信されます。

ステップ 3 Media Master で、[録音 (Record)] (円) をクリックし、メッセージを録音します。

ステップ 4 録音が終わったら、[停止 (Stop)] (四角) をクリックします。

- ステップ 5** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 6** [送信 (Send)] をクリックします。

メッセージの確認

Outlook でボイス メッセージと受信者を確認できます。ボイス メッセージと受信者は、電子メールとは異なる Outlook フォルダに表示されます。

新しいメッセージを一度開くと、削除するまでそのメッセージは保存されます。Connection がメッセージ保存ポリシーが適用されるように設定されているかどうか、およびそのように設定されている場合、メッセージが完全に削除されるまでメッセージが保存される期間を管理者に確認してください。Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されていても示されず、またポリシーの結果としてメッセージが完全に削除される前に警告は示されません。

[送信元 (From)] フィールドの情報は送信者を示します。このフィールドには Connection ユーザの名前が含まれます。また、メッセージが Connection 以外のユーザまたはメッセージが残るまで Connection にログオンしなかったユーザによってメッセージが残されている場合は、「Unity Connection メッセージシステム」が含まれます。[件名 (Subject)] フィールドには、発信者の電話番号 (使用可能な場合) が表示されます。

システムの設定方法に応じて、ボイス メッセージが含まれる Outlook フォルダには他の種類のメッセージ (ファックス メッセージなど) が示される場合があります。

メッセージを確認するには

- ステップ 1** ボイス メッセージを含む Outlook フォルダで、メッセージをダブルクリックして開きます。



(注) Outlook のプレビュー ペインでは、メッセージは確認できません。

- ステップ 2** 開いているボイス メッセージで、Media Master の [再生 (Play)] (右矢印) をクリックしてメッセージを再生します。
- ステップ 3** メッセージで、メッセージ ツールバーのボタンを使用して、電子メール メッセージを処理するのと同じ方法でメッセージを管理します。

メッセージに対する返信

ここに示す手順を実行して、ボイス メッセージに返信するか、返信を録音して電子メール メッセージに返信します。送信者だけに返信することができます。また、受信者を追加することもできます。

「Unity Connection メッセージシステム」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザではないか、メッセージが残されたときにログインしていなかったことを示します。そのような発信者からのメッセージには返信できません。

メッセージに返信するには

-
- ステップ 1** 開いているボイス メッセージで、[返信 (Reply)] をクリックします。
または
開いている電子メール メッセージで、[アクション (Actions)] メニューの [音声で返信 (Reply with Voice)] をクリックします。
- ステップ 2** Media Master で、[録音 (Record)] (円) をクリックします。
- ステップ 3** 録音を終了したら、[停止 (Stop)] (四角) をクリックします。
- ステップ 4** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 5** [送信 (Send)] をクリックします。
-

ボイス メッセージの転送

ここに示す手順を使用して、ボイス メッセージをそのまま転送するか、ボイス メッセージまたは電子メール メッセージを転送する前に再生するコメントを録音します。

ボイス メッセージを転送するには

-
- ステップ 1** 開いているボイス メッセージで、[転送 (Forward)] をクリックします。
または
開いている電子メール メッセージで、[アクション (Actions)] メニューの [音声で転送 (Forward with Voice)] をクリックします。
- ステップ 2** 受信者の名前を入力します。
- ステップ 3** Media Master で、[録音 (Record)] (円) をクリックし、コメントを録音します。
- ステップ 4** 録音を終了したら、[停止 (Stop)] (四角) をクリックします。
- ステップ 5** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
- ステップ 6** [送信 (Send)] をクリックします。
-

削除されたメッセージの管理

ボイス メッセージが含まれている Outlook フォルダからメッセージを削除する手順は、電子メール メッセージを削除する手順と同じです。ただし、削除されたボイス メッセージは、灰色の取り消し線付きのテキストで表示されます。削除されたボイス メッセージは、Cisco Unity Connection で消去されるまでボイス メッセージ フォルダに保存されます。

Connection では、特定の時間が経過すると、削除されたメッセージを自動的に消去できます。完全に削除されるまでのメッセージの保存期間については管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。

**ヒント**

ボイス メッセージを削除する前にアーカイブするには、Media Master の オプション メニューの [ファイルにコピー (Copy to File)] オプションを使用します。

削除されたメッセージを手動で消去することもできます。

削除されたメッセージを手動で消去するには

ボイス メッセージを含む Outlook フォルダで、[編集 (Edit)] メニューの [削除されたメッセージを消去 (Purge Deleted Messages)] をクリックします。
